



深田久弥

山の文化館だより

令和2年
秋号

深田久弥 山の文化館
〒921-0067
石川県加賀市大聖寺春場町十八
TEL 〇七六(一)七二一三三三一
FAX 〇七六(一)七二一三三三一

この一冊

『日本百名山』ドイツ語訳

日本百名山のドイツ語訳が完成しました。「この一冊」のコーナーですが、まだ本にはなっていません。少々レイアウトを修正するところがありますが、プリントアウトしたものをファイルに入れてご覧頂けるようにしました。資料文献室にお越しください。

このドイツ語訳は、深田久弥さんの甥深田勝弥氏が、平成二十七年早春に「白山」から始められ、つぎに「荒島岳」と故郷の山を訳し終え、一番「利尻岳」へかかりました。その年に七座を、以後、一年に二十一座、三十座、二十九座と進められ、平成三十一年四月二十五日ついに訳し終えられました。この間



にも、またその後も推敲を重ねられました。そのご苦勞の様子は、各項目の後に幾つも書かれている日付を見ると解ります。今年になって最終点検をし、九月九日ついに完成しました。ご本人は、九月九日の日記に「完成した。おめでとうと言うところだが、さほどの感慨はない。」という主旨のことを書いておられるようであります。

久弥と五万分の一地形図と赤鉛筆と

その11

妙高山の地形図（地勢図高田の十五）が三枚もある。①明治四十四年測量、②昭和五年修正測量、③昭和二十七年応急修正のもの三枚である。それぞれに相当の赤鉛筆の書込みがあった。

①には関山から関温泉そして燕温泉へとラインがあり、燕温泉を丸で囲んである。そして、燕温泉から北地獄谷経由で妙高山に至るラインがある。「南地獄」の文字の書込みもある。②には多くのラインが引かれている。赤倉から妙高山への登山道に赤鉛筆が引かれ、焼山と火打山にマークがしてある。また、笹ヶ峰牧場から高谷池へのルートと乙見山峠を越えて田口へのルートが赤鉛筆でなぞられ

ている。③には関温泉付近から神奈山、大倉山、三田原山、赤倉山と外輪山に薄い赤鉛筆のラインがあり、火打山にマークがしてある。これらに対応する山行記録を調べると、昭和十六年に焼山、妙高山、昭和十八年妙高山、昭和三十二年雨飾山の翌日の乙見山峠越え、昭和三十五年火打山を確認できた。



例によって、これらの赤鉛筆のラインに対応する作品はと探してみた。『おちこちの山』の「妙高山」と『わが愛する山々』の「雨飾山」が見つかった。「妙高山」は昭和十八年赤倉から登った時の紀行で、②の地図に書かれている赤いラインである。「雨飾山」には昭和三十二年雨飾山に登った翌日、乙見山峠を越えた様子が書かれている。これも②の地図にあるラインである。

ふるさとの自然ふれあいコンクール入賞作品決まる



加賀市長賞
菅本 煌己さん(錦城東小3年)



加賀市教育委員会賞
出口 境馬さん(勅使小5年)

例年通り、第十五回目のコンクール作品募集が行われました。新型コロナウイルスの流行で約二週間と短い夏休みで作品の集まりを懸念しましたが、例年より少ないとはいえ感性あふれる力作が集まりました。画家の長谷川清氏と写真協会の宮下一夫氏のお二人に審査をして頂きました。

加賀市長賞、加賀市教育委員会賞、深田久弥山の文化館賞各一点と、佳作、入選各十点が選ばれました。これらの



深田久弥山の文化館賞
坪野 蒼那さん(山代中2年)

秋の話題ひとつ



入賞作品は九月二十六日から十月十二日まで深田久弥山の文化館で展示されます。

大イチョウの話です。銀杏がたわわに実っています。銀杏ジューンドロップと称して六月頃いくらかの実が落ちますが、今年は六、七月に異常なほど多くの実が落ちました。もうないのかと思うくらいでしたが、たくさんの実が色付いています。今年もたくさんの実が落ちることでしょう。黄葉は、十一月に入ってからでしょうか。一度、山の文化館に足をお運びください。

間こう会予定

新型コロナウイルスの流行の中で、間こう会は三回ほど中止になりましたが、リモートで二会場形式にして「密」を避けながら実施しています。何かと制約はありますが、実施できています。(聴講無料)

午後一時半より三時
深田久弥山の文化館聴山房他

10月18日(日)
演題：片野鴨池と自然の楽しみ方
講師：櫻井 佳明氏

11月15日(日)
演題：錦城山の歴史と自然を学ぼう
講師：深田久弥山の文化館

12月13日(日)
演題：加賀海岸の重要な文化的景観について
講師：大幸 甚氏

読書会のお誘い

『日本百名山』など深田久弥の作品を読んで、山やその自然、文化について語りあっています。お気軽にご参加下さい。(参加無料)

十月 十六日(金)

『日本百名山』より「阿蘇山」

十一月二十日(金)

『日本百名山』より「大山」

●場所：深田久弥山の文化館
●時間：午後一時半より三時

*詳細はホームページをご覧ください

編集後記

コロナ禍で何かと制約はありますが、感染対策をしながら運営しています。ぜひお立ち寄り下さい。